Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 28 年 4 月 14 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　塚　田　眞　人
（コード番号：６８７９　東証第一部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営管理本部担当　安　藤　　潤
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７４２

イマジカ BS 開局 20 周年記念 「史上最大のイーストウッド特集」

～2016 年 6 月 2 日（木）より、52 週連続 52 作品放送決定！～

当社の連結子会社である株式会社IMAGICA TVが運営する映画・ドラマ専門チャンネル「イマジカBS・映画」は、開局20周年記念企画として、稀代の映画人クリント・イーストウッドが主演又は監督として携わった52作品を、2016年6月2日（木）より52週連続で特集放送します。

（添付資料　全 3 枚）

株式会社 IMAGICA TV　ニュースリリース

『イマジカBS開局20周年記念企画

「史上最大のイーストウッド特集」

2016 年 6 月 2 日（木）より、52 週連続 52 作品放送決定！』

以上



NEWS RELEASE （配信枚数：1/3枚）

名画を、いつもまぢかに イマジカBS 20th ANNIVERSARY

2016年4月14日
株式会社 IMAGICA TV

86歳、現役。
映画界の“レジェンド”の人生をたどる総力企画

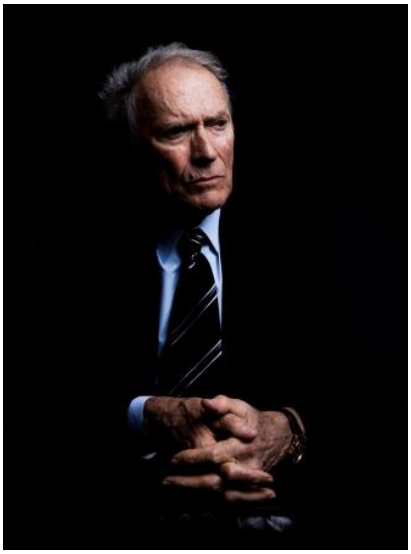
イマジカBS開局20周年記念企画

「史上最大のイーストウッド特集」

2016年6月2日（木）より、52週連続52作品放送決定！

24時間365日、名画を放送する映画チャンネル「イマジカBS・映画」（株式会社 IMAGICA TV 、代表取締役社長：伊藤明）は、開局20周年記念企画として、稀代の映画人クリント・イーストウッドが主演又は監督として携わった52作品を、2016年6月2日（木）より52週連続で特集放送します。

本特集は、9月に最新作『ハドソン川の奇跡』の劇場公開を控えるクリント・イーストウッドが、現在までに主演又は監督として携わった58作品のフィルモグラフィーをほとんど網羅する、テレビ放送史上最大規模（※）のイーストウッド特集です。5月に86歳を迎え、今なお現役で第一線を走り続ける映画界の“レジェンド”イーストウッドのこれまでの映画人生を味わい尽くす総力企画に、是非ご期待ください。 （※2016年4月現在、当社調べ）



写真：アフロ

特集 概要

【特 集 名】 イマジカBS開局20周年記念企画
「史上最大のイーストウッド特集」

【放 送 日】 2016年6月2日（木）より 毎週木曜 午後9時
52週連続52作品放送

【6月の放送作品】 ※放送作品の詳細は別紙資料（2枚）をご参照ください。

作品名	製作年	放送日
『許されざる者（1992）』	1992年	6月 2日（木） 午後9時00分
『奴らを高く吊るせ！』	1968年	6月 9日（木） 午後9時00分
『真昼の死闘』	1970年	6月16日（木） 午後9時00分
『ミリオンダラー・ベイビー』	2004年	6月23日（木） 午後9時00分
『アルカトラズからの脱出』	1979年	6月30日（木） 午後9時00分

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社 IMAGICA TV 放送事業局 BS編成制作部 イマジカBS広報担当
E-mail ：press@imagicatv.com
イマジカBS公式WEBサイト http://www.imagica-bs.com/

NEWS RELEASE （配信枚数：2/3枚）

別紙資料

【6月の放送作品情報】

※放送情報につきましては現状の予定で、変更となる場合がございます。

No.	放送日・作品名 製作年・製作国・監督・出演	作品解説（原稿：鬼塚大輔）
1	 6月2日（木）午後9時00分 **『許されざる者（1992）』** 1992年アメリカ 監督：クリント・イーストウッド 出演：クリント・イーストウッド ジーン・ハックマン モーガン・フリーマン リチャード・ハリス	**西部劇と二人の師匠への鎮魂歌** アカデミー最優秀作品賞、編集賞受賞の傑作。『許されざる者（1992）』はクリント・イーストウッドに、初のアカデミー最優秀監督賞をもたらし、この作品によってイーストウッドはアメリカ映画史に、スーパースターとしてのみならず、巨匠としても、その名を刻むこととなった。 『許されざる者（1992）』の脚本は、執筆されてから映画化までに20年の歳月を要した。イーストウッドは自分自身が映画作家として、俳優として成熟するまで、『許されざる者（1992）』の映画化を何年間も待ち続けた。「宝石を磨き続けるようでいい気分だった」と語っている。満を持して放った自信作は、それにふさわしい評価を得たのだ。 「暴力的な作品にはもう出演しない」と心に誓っていたジーン・ハックマンは、リトル・ビル役の出演依頼を受け最初は断ろうとしていたが、脚本を熟読するうちに、「これは暴力映画ではなく、暴力を否定する映画だ」と気づき出演を快諾。結果としてアカデミー最優秀助演男優賞に輝いた。 70年代初頭にアメリカ映画史における暴力描写を決定的に変えた2本の衝撃作、『ダーティハリー』のハリー刑事、イーストウッドと、『フレンチ・コネクション』のポパイ刑事、ハックマンが初共演を果たし、人間と暴力、暴力と正義、のテーマに、改めて向き合ってみせた。 モーガン・フリーマン、リチャード・ハリスの2大スターも、いぶし銀の演技を披露。 それまでの映画人生を総括し、自身、最後の西部劇と呼んでいる『許されざる者（1992）』は、イーストウッドの2人の師匠、『荒野の用心棒』のセルジオ・レオーネ監督と、『ダーティハリー』のドン・シーゲル監督に捧げられている。 西部劇というジャンルと、今は亡き2人の師匠への鎮魂歌。それがイーストウッド渾身の傑作『許されざる者（1992）』なのである。
2	 6月9日（木）午後9時00分 **『奴らを高く吊るせ！』** 1968年アメリカ 監督：テッド・ポスト 出演：クリント・イーストウッド インガー・スティーヴンス エド・ベグリー ジェームズ・マッカーサー	**映画製作者イーストウッドの原点** マカロニ・ウエスタンで世界的なスターとなったクリント・イーストウッドがアメリカに凱旋した作品。 クーパーの命を救う保安官を演じているのは、ジョン・フォード西部劇の常連だったベテラン、ベン・ジョンソン。鬼判事を演じたパット・ヒングルは、後に『ガントレット』、『ダーティハリー4』でイーストウッドと共演している。 復讐しようとする相手に逆襲され重傷を負った主人公を、献身的に解放する女性を演じているのがインガー・スティーヴンス。マカロニ・ウエスタンの大ヒットで世界的スターとなったものの、アメリカではTVスターとしての知名度しかなかったイーストウッドのことを、スティーヴンスは知らなかった。しかし、『奴らを高く吊るせ！』撮影中にイーストウッドに夢中になり、「今度またイーストウッドと映画を撮るときには、絶対に呼んでね」と監督に懇願したという。 監督はTVシリーズ『ローハイド』の時代からイーストウッドと気心の知れていたテッド・ポスト。ポストは『ダーティハリー2』でもイーストウッドと組んでいる。 アメリカに戻ったイーストウッドが設立した自らのプロダクション、マルパソ・カンパニー、記念すべき第一回製作作品。イタリア製西部劇への主演という、当時はハリウッドスターにとって自殺行為と思われていた依頼を引き受けたイーストウッドだったが、友人たちは、それは「間違った道（マル・パソ）」だと言って思いとどまらせようとした。自分の勘に従ったイーストウッドは、『荒野の用心棒』でブレイクすることに。あくまで自分の直感を信じ続けること誓ったイーストウッドは、自らのプロダクションを「マルパソ」と名付けた。映画製作者イーストウッドの原点が『奴らを高く吊るせ！』なのだ。
3	 6月16日（木）午後9時00分 **『真昼の死闘』** 1970年アメリカ 監督：ドン・シーゲル 出演：クリント・イーストウッド シャーリー・マクレーン マノロ・ファブレガス アルベルト・モリン	**スーパースターの後ろで溌剌と大暴れ！** 『真昼の死闘』でヒロインのシスター・サラを演じているのは、『アパートの鍵貸します』ほかの作品で知られるベテラン人気女優シャーリー・マクレーンだった。コミカルな演技、健康的なお色気が売り物で、ビリー・ワイルダー監督の『あなただけ今晩は』で娼婦を演じてオスカーにノミネートされたマクレーンが、尼さん役？と思って観ていると…。マクレーンは『キャノンボール2』でも尼さんの格好をしていましたね。 ランドルフ・スコット主演の低予算西部劇を数多く監督し、セルジオ・レオーネやマーティン・スコセッシに絶賛されているバッド・ベティカーが原案で、監督も担当することになっていたが都合により降板することとなった。そうなれば、監督を任せられるのは一人しかいない。イーストウッドは『マンハッタン無宿』で意気投合していたドン・シーゲルに監督を依頼。シーゲルは期待に応えて、ユーモアたっぷりの異色西部劇を完成させた。 音楽はイーストウッドとセルジオ・レオーネ作品で組んだエンニオ・モリコーネ。 原題を邦訳すると「シスター・サラのための二頭のロバ」となるのだが、実はこの作品でシスター・サラに仕えるロバは一頭だけである。二頭目として登場するのはロバではなくてラバ。では、もう一頭のロバは何を指しているのだろう？ 英語で「ロバ」を意味する「ミュール」には、「間抜け」、「愚か者」という意味もあるのがヒント。となると、シスター・サラの二頭目のロバとは…。 クリント・イーストウッドの名前がタイトルのトップに登場しない作品は、『真昼の死闘』を最後に、23年後に製作された『パーフェクト・ワールド』まで存在しない。『真昼の死闘』は、スーパースターの座に限りなく近づいていたイーストウッドが、すでにスーパースターだったマクレーンを立てながら、溌剌と大暴れしている様子が楽しめる作品なのである。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社 IMAGICA TV　放送事業局　BS編成制作部　イマジカBS広報担当
E-mail ：press@imagicatv.com
イマジカBS公式WEBサイト http://www.imagica-bs.com/

NEWS RELEASE （配信枚数：3/3枚）

別紙資料

【6月の放送作品情報】

※放送情報につきましては現状の予定で、変更となる場合がございます。

No.	放送日・作品名 製作年・製作国・監督・出演	作品解説（原稿：鬼塚大輔）
4	 6月23日（木） 午後9時00分 **『ミリオンダラー・ベイビー』** 2004年アメリカ 監督：クリント・イーストウッド 出演：クリント・イーストウッド ヒラリー・スワンク モーガン・フリーマン アンソニー・マッキー	**イーストウッドが描く究極のラブ・ストーリー** 『許されざる者（1992）』に続き、クリント・イーストウッドに2度目のアカデミー最優秀監督賞を、ヒラリー・スワンクに『ボーイズ・ドント・クライ』に続く2度目の最優秀主演女優賞を、そしてモーガン・フリーマンに初の助演男優賞をもたらした『ミリオンダラー・ベイビー』は、もちろんアカデミー最優秀作品賞も受賞している。この時点でイーストウッドは74歳。アカデミー最優秀監督賞を受賞した最高齢者の記録を作った。 イーストウッドが演じたトレイナー、フランキー役は、当初モーガン・フリーマンにオファーされていた。だがフリーマンは、脇役であるもう一人のトレイナー、エディ役が自分にふさわしいと申し出た。そしてオスカーを獲得。スワンクは徹底したトレーニングで体重と筋肉を増やして撮影に臨んだ。 これほどの成功を収めた傑作でありながら、多くの映画会社が製作を断ったため実現までには、長い年月が必要だった。古くさいボクシング映画だと思われたからだろう、とイーストウッドは語っている。 プロデューサーのアルバート・S・ラディは、『ミリオンダラー・ベイビー』の企画を、あらゆるところに持ち込んだが、あまりにも衝撃的な結末に誰もが製作を尻込みした。そんな中でただ一人興味を示したのがクリント・イーストウッドだった。 「暗い話だが、いい話だ」と参加を決意したという。ほかの人間がなんと言おうと、あくまでも自分の直感を信じるイーストウッドの流儀が、またしても名作を生んだのである。イーストウッドはプロデューサーの奮闘に敬意を表し、自分が演じるキャラクター、フランキーの声や話し方のモデルにラディを選んだ。 ボクシングの物語ではなく、愛についての、そして人間についての物語、イーストウッドが描く究極のラブ・ストーリー。それが『ミリオンダラー・ベイビー』なのだ。
5	 6月30日（木） 午後9時00分 **『アルカトラズからの脱出』** 1979年アメリカ 監督：ドン・シーゲル 出演：クリント・イーストウッド パトリック・マクグーハン ロバーツ・ブロッサム ジャック・チボー	**映画史に残る師匠と弟子、最後のコラボ** 映画『アルカトラズからの脱出』のストーリーは、なんと実話に基づいている。実は97年の『真夜中のサバナ』以降、今年公開の最新作『ハドソン川の奇跡』まで、イーストウッドが出演しない監督作のほとんどは実話を基にしているのだが、イーストウッドが主演している実話ベースの作品は、90年の『ホワイトハンター ブラックハート』と、この『アルカトラズからの脱出』2本だけである。 アクション・シーンのない脱獄映画という、それまでのイーストウッド作品とはまったく異質の作品に主演する条件としてイーストウッドが要求したことはただ一つ、ドン・シーゲルに監督をさせること、だった。『マンハッタン無宿』、『真昼の死闘』、『白い肌の異常な夜』そして『ダーティハリー』。イーストウッドの師匠であり、恩人でもあるシーゲルは、愛弟子の期待に見事に応え、隙のない、静かな、それでいて熱気に満ちたサスペンスを創り上げた。 カーチェイスもガンファイトもない『アルカトラズからの脱出』でクリント・イーストウッドは、表面的にはクールに着々と計画を練りながら、心の中では自由への執念を燃やし続ける、新たなヒーロー像に挑み新境地を開拓した。派手なアクションはなくとも、下水道や狭い通風口をたどる脱出場面は危険に満ちていたが。イーストウッドはすべて自分で演じきった。 この作品のもう1人の主役はアルカトラズ島の刑務所そのもの。ジョン・フランケンハイマー監督の『終身犯』、マイケル・ベイ監督の『ザ・ロック』などの舞台となったアルカトラズは、イーストウッドの『ダーティハリー3』では、ハリー刑事とテロリスト軍団の対決の舞台にもなっている。 アメリカ映画史に残る師匠と弟子、ドン・シーゲルとクリント・イーストウッドの最後のコラボレーション。それが『アルカトラズからの脱出』だ。

ほか、7月以降も続々と放送予定

各作品の本編前に映画の見どころを紹介する2分半の解説番組『イーストウッド 52の証明』を放送します。

『許されざる者（1992）』©Warner Bros. Entertainment Inc.／『奴らを高く吊るせ！』©1968 ROSE FREEMAN REVOCABLE TRUST AND LEONARD FREEMAN TRUST. All Rights Reserved／『真昼の死闘』©1969 Universal Pictures. All Rights Reserved.／『ミリオンダラー・ベイビー』©2004Lakeshore Entertainment. All Rights Reserved.／『アルカトラズからの脱出』©2016 Paramount Pictures. All rights reserved.

イマジカBS

24時間365日 全部、名画。高画質 ハイビジョン。映画本編 ノーカットノーCM。

「イマジカBS・映画」は、ハリウッドからヨーロッパまで世界中から揃えた映画をハイビジョン高画質、本編ノーカット・ノーCMで放送する映画チャンネルです。話題のヒット作から掘り出し物の名画まで、映画ファン必見のラインナップをお届けします。スカパー！、J:COM、ひかりTV、全国のケーブルテレビなどでご視聴いただけます。

（2016年2月末現在、視聴可能世帯数約497万6千世帯）

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社 IMAGICA TV　放送事業局　BS編成制作部　イマジカBS広報担当
E-mail ：press@imagicatv.com
イマジカBS公式WEBサイト http://www.imagica-bs.com/